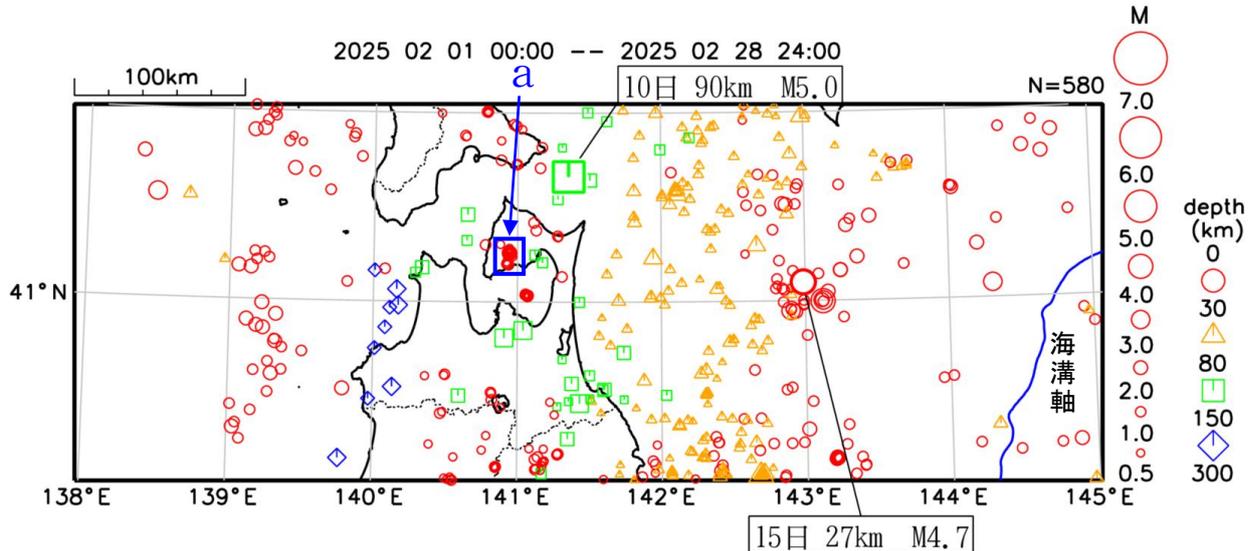


青森県月間地震概況

2025年2月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【2月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は580回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は15回であった。

10日23時16分に苫小牧沖の深さ90kmでM5.0の地震が発生し、北海道から宮城県にかけて震度2～1を観測した。県内では、八戸市、むつ市、三沢市などで震度2を観測したほか、県内の広い範囲で震度1を観測した。

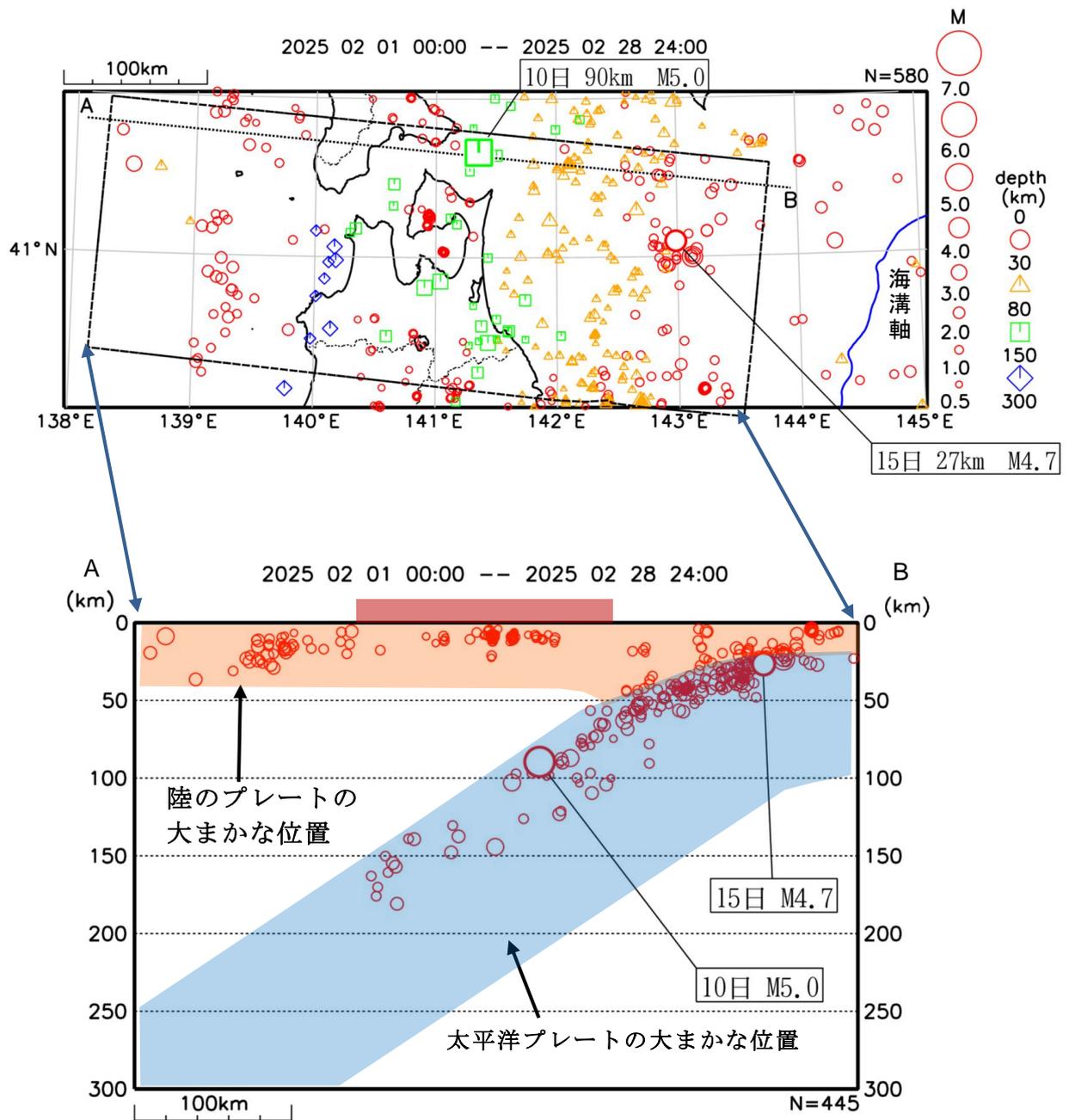
15日20時34分には青森県東方沖の深さ27kmでM4.7の地震が発生し、北海道から岩手県にかけて震度1を観測した。県内では、八戸市、むつ市、階上町など、下北、三八上北と津軽北部で震度1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

青森県むつ市付近（図中aの領域）では、震度1以上を観測する地震はなかったものの、2月中旬に地震活動が活発であった。この領域では1月下旬にもまとまった地震活動が見られていた。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年2月1日～2025年2月28日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年02月06日12時03分	岩手県沖	39° 37.9' N	142° 06.0' E	49km	M4.0
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平*				
2025年02月07日12時36分	十勝地方北部	43° 11.8' N	142° 49.1' E	156km	M4.8
青森県	震度 2 : 平内町小湊 階上町道仏* むつ市大畑町中島* 震度 1 : 外ヶ浜町蟹田* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 五戸町古館 青森南部町平* むつ市金曲 むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内* 風間浦村易国間* 佐井村長後*				
2025年02月10日23時16分	苫小牧沖	41° 39.7' N	141° 21.2' E	90km	M5.0
青森県	震度 2 : 平内町小湊 外ヶ浜町蟹田* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 野辺地町田狭沢* 東北町上北南* 六ヶ所村尾駈 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 大間町大間* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内* 震度 1 : 青森市花園 青森市浪岡* 平内町東田沢* 今別町今別* 蓬田村蓬田* つがる市稲垣町* つがる市車力町* 外ヶ浜町平館* 中泊町中里* 藤崎町西豊田* 八戸市島守 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村出戸 田子町田子* むつ市大畑町奥葉研 むつ市川内町* むつ市脇野沢* 東通村尻屋* 東通村白糠* 風間浦村易国間* 佐井村長後* 佐井村佐井*				
2025年02月12日23時37分	岩手県沖	39° 05.6' N	141° 51.5' E	65km	M4.7
青森県	震度 2 : 青森南部町苫米地* 階上町道仏* 震度 1 : 八戸市島守 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町平* おいらせ町中下田* 東通村砂子又沢内*				
2025年02月13日06時04分	宮城県沖	38° 21.1' N	142° 02.5' E	52km	M4.9
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏*				
2025年02月15日20時34分	青森県東方沖	41° 05.9' N	142° 59.2' E	27km	M4.7
青森県	震度 1 : 平内町小湊 外ヶ浜町蟹田* 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 横浜町林ノ脇* 東北町上北南* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* むつ市金曲 東通村砂子又沢内*				
2025年02月16日00時55分	岩手県沖	39° 22.2' N	142° 16.7' E	42km	M3.8
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 青森南部町苫米地*				
2025年02月19日04時36分	青森県三八上北地方	40° 27.8' N	141° 25.9' E	87km	M3.8
青森県	震度 2 : 青森南部町平* 震度 1 : 平内町小湊 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 野辺地町田狭沢* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 階上町道仏* おいらせ町中下田*				
2025年02月19日23時13分	青森県東方沖	41° 33.9' N	142° 06.8' E	53km	M3.8
青森県	震度 1 : 東通村砂子又沢内*				
2025年02月21日13時41分	岩手県沿岸北部	39° 45.5' N	141° 50.0' E	59km	M4.1
青森県	震度 2 : 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
震度 1	：八戸市島守 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町平*				
2025年02月21日22時01分	福島県沖	37° 30.9' N	141° 26.2' E	49km	M4.9
青森県	震度 1	：八戸市南郷* 青森南部町苫米地* 階上町道仏*			
2025年02月22日22時07分	青森県東方沖	40° 59.8' N	143° 07.3' E	23km	M4.2
青森県	震度 1	：平内町小湊 板柳町板柳* 五戸町古館 東通村砂子又沢内*			
2025年02月23日13時08分	宮城県沖	37° 59.9' N	141° 44.0' E	56km	M4.6
青森県	震度 1	：階上町道仏*			
2025年02月25日01時30分	苫小牧沖	42° 15.1' N	141° 14.2' E	107km	M4.3
青森県	震度 1	：むつ市大畑町中島* 東通村砂子又沢内*			
2025年02月26日08時22分	岩手県沖	40° 04.6' N	142° 40.5' E	38km	M4.6
青森県	震度 1	：八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田*			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

津波フラッグを見たらすぐ避難

海岸付近で地震による揺れを感じたり、大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表された場合は、津波襲来に備え直ちに津波から身を守る行動をとることが重要になります。「津波フラッグ」は、この津波警報等が発表されたことを海水浴場などにいる方々にお知らせするための旗です。聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などでも知覚できるように用いられます。

■ 津波フラッグの導入背景

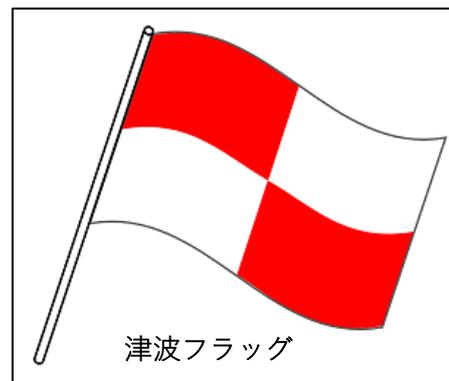
津波警報等は、テレビ、ラジオ、携帯電話、サイレンや鐘等の様々な手段で伝達されていますが、聴覚に障がいをお持ちの方々への津波警報等の伝達に関しては以前より課題がありました。実際に、津波により多くの尊い命が失われた平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震では、岩手県、宮城県及び福島県において聴覚に障がいをお持ちの方がお亡くなりになった割合が、そうでない方の約 2 倍にのぼったとのデータもあります（※ 1）。このことを受けて、気象庁では「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」を開き、視覚による伝達手段についての検討を行いました。どのような手段がふさわしいか、また旗を用いる場合はどのようなデザインが適切であるかが議論され、令和 2 年 6 月に津波警報等の視覚的伝達手段として津波フラッグを用いることを決めました。 ※ 1 「ノーマライゼーション障害者の福祉」2011 年 11 月号



海水浴場で実施した旗の視認性の検証の様子

■ 津波フラッグのデザイン

津波フラッグは赤と白の格子模様のデザインをしており、視認性が高く色覚の影響を受けにくいといった特徴を持ちます。これは主に船舶間の通信で用いられている国際信号旗の「U 旗」と同様のデザインをしています。U 旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられているため、国際的に認知度が高く、津波フラッグは外国人に対する有効性も期待できます。



■ 過去の活用事例

令和6年4月3日に台湾付近で地震が発生し、それに伴い沖縄本島地方及び宮古島・八重山地方に津波警報を発表しました。この津波警報発表を受けて、沖縄県内では津波フラッグを実際に活用した津波の伝達が行われました。ビーチでは、ライフガードの方々が実際に津波フラッグを提示して遊泳者に退水を呼びかけ避難誘導を行い、誘導後は津波フラッグを継続してビーチに掲げること
で、海がまだ危険であることを伝える手段としても活躍しました。



避難誘導後も継続してビーチに掲げられた津波フラッグ
(糸満市の美々ビーチいとまん提供)

■ 津波フラッグを見たらすぐ避難

海水浴場等では、聴覚に障がいがなくとも波音や風などの影響で音声・音響による伝達が困難な場合もあることから、津波フラッグは遊泳者等への有効な伝達手段となります。

海水浴場や海岸付近で津波フラッグが振られていたり、掲げられていたりしているのを見たら、速やかに海から離れて高い場所へ避難してください。



海岸で津波フラッグを振っているイメージ
(公益財団法人 日本ライフセービング協会提供)

次のページに、津波フラッグの参考資料を紹介しますのでぜひご覧ください。

■ 参考資料



気象庁ホームページ「津波フラッグ」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

リーフレット「地震だ、津波だ、すぐ避難」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/img/leaflet_tsunami_bosai.pdf



気象庁/知識・解説YouTubeチャンネル「津波フラッグ」をおぼえよう！！

<https://www.youtube.com/watch?v=fMMEvxmFphMpdf>

気象庁/知識・解説YouTube チャンネル「津波フラッグ」は避難の合図

https://www.youtube.com/watch?v=1_x7fyzRtKo



手話動画「海水浴中に津波警報が！聴覚障害者への伝え方は？」宮城県聴覚障害者情報センター(愛称:みみサポみやぎ)

<https://www.youtube.com/watch?v=y2baAj3uKYM>